自衛隊記念日レセプション大使挨拶（日本語訳）

皆様、こんにちは。

本日ここに、多数のご来賓の方々をお迎えし、このように自衛隊創設記念日を祝賀できることを大変嬉しく思います。

日本では先月1日、新しい天皇陛下が即位し「平成」から「令和」に時代が移りました。日本では元号という独自の **Nome De Era** が定められ、新しい天皇陛下が即位すると元号も変わります。本日は新たな時代を迎えて最初の自衛隊記念日レセプションであり、そのような節目の式典に皆様にご臨席頂いたことを心より感謝申し上げます。

現在の国際情勢に目を向けると我々を取り巻く安全保障環境は一層、不確実性を増しています。グローバルなパワーバランスが変化する中、地域紛争、大量破壊兵器の拡散や国際テロの脅威、海洋や宇宙空間、サイバー空間といった様々な分野でリスクが増大し、一国のみの努力で国際社会や自国の安全を確保することは最早困難です。この様な中、我が国は平和国家としての歩みを堅持しつつ、国際協調主義に基づく「積極的平和主義」の立場から、国際社会の平和と安定に積極的に寄与していく方針です。

日本とブラジルは、民主主義、法の支配といった基本的価値観を共有する伝統的友好国です。今月末には、ボルソナール大統領がG20首脳会議出席のために訪日予定であり、今年日伯間の協力関係がますます進展することを期待しています。そして、安全保障の分野においても日本とブラジルとの協力は極めて重要であり、両国の交流が着実に進展していることをうれしく思います。この場を借りまして、ブラジルの安保・防衛関係者の我が国に対するご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

なお、本式典において、この後、日伯交流に特にご尽力いただいた2名の方、マツダ陸軍中将与カルドーズ・マルチンス陸軍中將を表彰させていただく予定です。

ところで、自衛隊記念日は7月1日で、記念レセプションはそれ以前に開催することになっています。そこで、本日レセプションを開催することにしたのですが、今日は「恋人の日」だから今日の開催となったわけではありません。あさってから日本代表も招待国として参加するコパ・アメリカが開幕するので、日本とブラジルを応援しなくてはなりません。去年のワールドカップでもう少しで実現しそうだった日本対ブラジル戦が今度こそ実現することを心から期

待しています。

冒頭、日本の新しい元号が「令和」となると申し上げました。「令和」とは「美しい調和」を意味しています。そして「令和」には「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められています。

今後、日伯がますます友好関係を強化し、共に国際社会の平和と安定に貢献し、「美しい調和」が世界に実現することを祈念して、私の挨拶とさせていただきます。